

### 自衛消防隊員研修

職場を守るため!県消防学校で開催されました

9月11日、12日の2日間、当協会からヒカワ精工(株)の2名の方が自衛消防隊としての知識や技術を習得されました。この研修は毎年開催されますので関心のある方は事務局へお問い合わせください。



### 出雲駅伝 ボランティア員が活躍しています!

10月8日、当協会救命ボランティア員8名が各中継場所で救護活動を行いました。前回は暑さによる体調不良者が多数出たことから走り終えた選手全員に医師がメディカルチェックを行うことになり、そのサポートや体調不良者の対応に当たりました。



### ご案内

#### 応急手当普及員養成講習 (消防本部主催)

突然の事故や病気などで救急車を呼ぶような現場に遭遇した時、救急車が到着するまでに応急手当を行えば救命効果が向上し、治療経過に良い影響を与えることはご承知のとおりです。この資格を取得されますと職場や団体等で指導をすることができます。講習の詳細、お申込みは出雲市消防本部ホームページ <http://www.izumo119.or.jp> でご確認ください。

当協会では応急手当普及員によるボランティア活動を行っており、出雲駅伝や出雲くにびきマラソン大会と一緒に活動していただける方を募集しています。

日程/平成31年3月7日(木)~9日(土) 3日間(24時間) 会場/出雲市消防本部

### 平成31年度 危険物取扱者試験日程

試験日	受付期間	種別	試験場所
第1回 6月9日(日)	書面申請: 4月8日(月)~4月22日(月) 電子申請: 4月5日(金)~4月19日(金)	甲 乙	松江・大田・益田
第2回 6月16日(日)			出雲・浜田・隠岐
第3回 11月3日(日)	書面申請: 8月26日(月)~9月9日(月) 電子申請: 8月23日(金)~9月6日(金)	丙	松江・益田・隠岐
第4回 11月10日(日)			出雲・大田・浜田
第5回 2020年 2月2日(日)	書面申請: 12月5日(木)~12月19日(木) 電子申請: 12月2日(月)~12月16日(月)	乙	松江・大田 益田・隠岐
第6回 2月9日(日)		乙 丙	松江・出雲・浜田

### 編集後記

前号のこの記事で紹介しました出雲ナンバーの提案デザインが決定しました。迫力のあるヤマノオロチが明るく表現されていると感じました。本協会も間もなく迎える新しい時代にあたり、描かれているヤマノオロチのように勢いをもって前に進んでまいりますので、今後とも会員の皆様のご支援・ご協力をお願いいたします。 事務局一同

### 連絡先

出雲市防災安全協会 事務局  
(出雲市消防本部内)  
住所: 出雲市渡橋町253番地1  
電話: 0853-21-6922  
印刷/有限会社ナガサコ印刷

# 出雲市防災安全協会会報



発行・事務局 / 出雲市消防本部内



視察研修 水素ステーション



消火競技大会



視察研修 救難機US-2  
出典:海上自衛隊岩国航空基地ホームページより



出雲駅伝 救護班



夏休み消防一日体験学習

## 年頭のごあいさつ

出雲市防災安全協会 会長 石川寿樹



平成31年の新春を迎え、謹んで年頭のごあいさつを申し上げます。  
平素より、当協会の運営につきまして、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。  
昨年の4月に発生した鳥根県西部を震源とした地震をはじめとして、7月の西日本豪雨災害、大阪や北海道の地震などの影響により各地に甚大な被害を及ぼしました。被災地では今もなお、仮設住宅での生活を余儀なくされている方がたくさんいらっしゃいます。  
このような状況の中、住民の安全・安心を確保するためには、自然災害への迅速な対応や、火災の危険性の高い施設に対する防火対策など、災害への備えをしっかりと行う必要があります。  
本年も会員の一人ひとりが安全意識をもって連携協力し、地域防災の普及啓発に向けて、積極的に取り組んでいかなければならないと考えております。  
つきましては本協会の発展のため、ご支援ご協力を賜りますようお願いいたします。  
今年一年、皆様が無事に、安心して暮らせる年であることを祈念しまして、年頭のごあいさつとさせていただきます。



# 先進地視察研修報告



## 10/11 イワタニ水素ステーション山口周南 (山口県周南市)

運搬されてきた液化水素を気化、圧縮、蓄圧し、燃料電池自動車 (FCV) などに充填する山陰にはない施設で、安全対策の徹底が図られ営業されている様子を見学しました。周南市ではコンパクトから空気中に放出していた水素を利活用するまちづくりが進められていました。

## 10/12 海上自衛隊岩国航空基地 (山口県岩国市)

日米共同使用の基地であるため厳重な警備の中、広大な敷地内にある自衛隊関連施設を見学し、基地の歴史や役割、活動内容、防火体制等の説明を受けました。また、米軍の関連施設やその家族の居住地域を車窓より見学しました。



イワタニ水素ステーション山口周南



岩国航空基地史料館



第31航空群司令部庁舎前

### 今回参加された方の中から感想を伺いました

Q1 何が印象に残りましたか?

Q2 今後どのような備えが必要でしょうか?



株式会社出雲村田製作所 勝部 透さん

Q1 岩国基地のセキュリティーと消防体制です。厳しい入場チェック（警備員は拳銃所持）で、何重ものゲートを通らないと施設に入れませんでした。当社でも近年、セキュリティーを強化していますが、やはり軍事施設のものとは別格でした。また航空機火災対応の装備品を見学し、消防車のサイズ・消火能力の大きさに驚きました。

Q2 私は当社で安全・防災担当課で、防災対策や訓練を担当しています。南海トラフ地震発生が近いと言われていた中、昨年の島根県西部地震により地震対策の見直しをすることになりました。今回得た知見を参考に、地震対策や避難訓練を計画していきたいです。



(有)篠原石油 篠原 忠利さん

Q1 イワタニ水素ステーションで充填設備が FCV 用とフォークリフト用と全国初で併設されていたこと、施設から発生する水素が隣接の地方卸売市場に配管で供給され発電に利用されていたことです。FCV や水素ステーションの建設費用はまだかなり高く課題がありますが、この先楽しみなエネルギーだと思いました。

Q2 私の会社はガソリンスタンドなので、万が一の災害時には災害対応型給油所となるよう日頃から態勢を整え、被災者の救援と被災地域の早期復興に貢献できるよう施設整備や防災訓練に備えてまいります。



民宿いなば 稲葉 勇二さん

Q1 FCV 普及への期待が膨らむと同時に、今後の水素の利活用に注目していきたいです。岩国基地では間近で見学した水陸両用救難飛行艇 US-2 の活動内容が多岐にわたっていることが印象に残っています。米軍施設内での昼食は貴重な体験でした。

Q2 災害は避けては通れない永遠の課題です。地震、津波、洪水、火山噴火等により一瞬にして人命と財産を失ってしまいます。災害への対策や対処は公的機関の機能には限りがあるので、例えば毎年必ず襲来する台風等、自分にできる対策を講じておけばかなり防げるものと思います。

# 受賞おめでとうございます! 県危連表彰

6月13日、松江市のプラバホールを会場に島根県危険物保安協会連合会による危険物保安関係功労者定例表彰式がありました。危険物の安全管理に対する永年の功績を称えられた県内の事業所と個人が表彰され、当協会から次の皆様を受賞されました。心よりお祝い申し上げます。また表彰式後、あいおいニッセイ同和損保(株)顧問の大庭誠司氏による「シン・ゴジラが語る我が国の危機管理」と題した安全講演会がありました。ご自身が以前総務省消防庁に在籍されていた時に起きた東日本大震災の対応等、官邸の危機管理に携わってこられた体験のお話は大変興味深いものでした。



### 事業所の部

KB ツツキ(株)出雲工場 (写真左)  
漁業協同組合 JF しまね大社支所

### 個人の部

(有)海潮産業 高橋 良和 (写真中央)  
(株)ナカサシ 福田 章誉 (写真右)

(敬称略)

## 共催・後援事業の報告

### 消火競技大会



10月3日、今市町一の谷公園多目的広場にて開催され、男子の部23チーム、女子の部13チームが消火器による初期消火の技術を競いました。職場の皆さんの熱心な応援の中、出場選手は緊張しながらも事業所の代表として日頃の訓練の成果を発揮されました。

男子の部 優勝 ヒカワ精工(株)B  
準優勝 (株)出雲村田製作所  
第3位 ヒカワ精工(株)A

個人賞 (男子の部)  
指揮者 島根県農業協同組合 出雲地区本部  
1番員 (株)イズミゆめタウン出雲



女子の部 優勝 (株)出雲村田製作所  
準優勝 (株)フクダ  
第3位 島根県農業協同組合 ラピタ本店

個人賞 (女子の部)  
指揮者 島根県農業協同組合 ラピタ本店  
1番員 (株)フクダ

**優勝チームにインタビュー**

男子の部 ヒカワ精工(株)B 回消火競技大会

指揮者 葛西敦志さん(写真右)  
1番員 渡部貴幸さん(写真左)

何年ぶりに優勝でき、面々が保てました。もし会社で火災が起きてでも訓練の成果を発揮したいです。



女子の部 (株)出雲村田製作所 回消火競技大会

指揮者 米井澄香さん(写真左)  
1番員 岡崎美佳さん(写真右)

優勝しか見えていなかったのて嬉しいです。怪なくて良かったです。



## 夏休み消防一日体験学習 小学生がチャレンジしました

8月3日、市内の小学生79名が消防の仕事の体験をとおして防火・防災について学習しました。内容は消火器の使い方や応急手当、煙の中の避難、地震体験、放水体験、消防車乗車等です。初めは知らない者同士、緊張の様子でしたが次第に打ち解け、チーム対抗のパケツリレーでは一致団結し大変盛り上がりしました。



南海トラフ地震を体験中



救命講習

## 指導者研修会

### 「まさか」ではなく「いつか」起きる災害への備え

12月1日、出雲市幼年・少年消防クラブ、女性防火・防災クラブ指導者研修会が消防本部で開催されクラブ員37名が参加しました。緊急消防援助隊員による「西日本豪雨災害」の活動報告を聞いた後、豪雨を想定したグループワークを行いました。参加者は命を守るため想像し、実行に移すことを意識しながら真剣に取り組みました。



テーマ「経験したことのない大雨 そのときどうする?」